

[様式 1]

令和 5 年度 三好市立学校評価報告書

作成日 令和6年3月25日

学校名(三野中学校)

校長名(熊澤 浩己)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.2	生徒の前に立つ教員としての姿を強く自覚することを機会ある度に求めた。教員は、その方針に沿って誠実に職務にあたった。行事等により多忙を極める時期があったり、個人への負担が偏ることがあり、業務改善・働き方改革はさらなる取組が必要である。	学校だより等を通して経営の方針が明確化され、保護者にも様々な機会に伝える努力が同え、保護者アンケートからも良好な結果が示されている。	さらに生徒や保護者の理解が得られるような情報発信に努めるとともに、生徒の悩みや相談、生徒指導などの問題が起こったときに迅速な対応ができるように、資質・能力の向上を目指した研修を継続して行う。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.4	教員が学校教育目標実現のために協働できた。コロナの5類移行により、生徒たちに「認められる場の設定」を多く持てた。学校行事はさらなる精選が必要と考えるが、それぞれの行事については、充実した取組ができた。	無言清掃や心のかもった挨拶ができており、元気と明るさにあふれたキラキラした学校を目指している。先生方の授業の工夫が感じられ、生徒の反応も良かった。	地域に開かれた教育課程を実施し、保護者・地域へ向けて情報の発信及び協力が得られるように、PTA活動の活性化や交流を深めることが重要である。その一つとして、学校支援ボランティアの皆さんを活用して、地域の方々との交流を図る。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.0	日頃の生徒の動向に注力し、気になることは学校全体で共有し、教員の共通理解の中で指導に努めた。自転車通学が多い本校の本校の現状に鑑み、交通安全指導の充実を図った。	先生方が工夫をして授業されていて生徒たちも真剣に取り組んでいる。ただ、生徒アンケートの「学校でわからないことは質問している」生徒が少し少ないことを課題として捉える。	横断歩道のないところを通っている生徒がいるようなので、今一度、通学路についての指導や共通理解を図る。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	2.8	学校だよりやホームページを通して、行事等での生徒の活動を写真とともに公開し、定期的に配信できた。地域行事への参加も数多くできたが、学校に来校していただいたり、合同行事については、十分ではなかった。	学校・学年だよりやホームページで生徒の活動をたくさんの写真で紹介しているので学校や生徒の様子がよくわかる。小学生が中学校の授業を参観したり、中学生からいろんな話を聞く機会があるのは、安心して中学校に入学できるので、いい取組だと思う。	PTA活動の活性化を進めてもらいたい。保護者の意見や要望に耳を傾けて改善に活かし、いろんな行事でPTAと学校の関係も、改めて見直すべきである。
⑤ その他、上記以外に関する評価(タブレット等、ICT機器の活用状況)	3.2	特別支援教育について、個別の支援計画に基づいて丁寧な指導に取り組んだ。また、課題に対して、養護教諭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図り、迅速に対応した。	特別支援教育、ICT環境、部活動指導など、効率的かつ効果的な校務の取組ができています。通学路で横断歩道を渡るときは、自転車を押して渡る取り決めは良い。部活動は、生徒数が減少する中で、良く活動している。	タブレット等をたくさんの先生方が使って授業の目標達成に役立っているが、慣れてくるにつれて、使うことが目的にならないようにしなければならぬ。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90～100 %
3=達成度が 70～ 90 %
2=達成度が 50～ 70 %
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6)「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。